

# Medical Technology News

## 臨床検査室新聞

### マイコプラズマ肺炎

#### 長引く咳に注意!

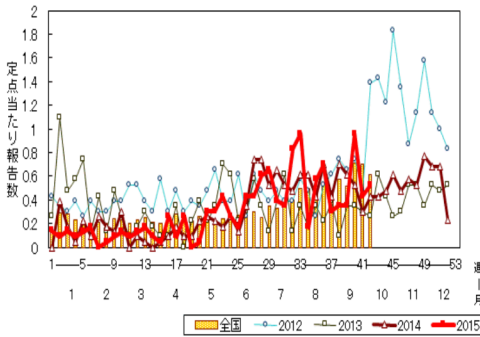
マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマ・ニューモニエという病原菌の感染で起こる肺炎です。

主な症状は、発熱と長引く咳です。発熱が3〜5日続いたあと乾いた咳が出るようになります。また発疹や頭痛、合併症として中耳炎や関節炎を伴うこともあります。潜伏期は2〜3週間で、発熱で発病し、1〜2週間で回復しますが、長い人では咳が1ヶ月続くこともあります。

幼児から成人まで幅広い年齢層でかかりますが、学童期によく見られます。

感染経路は咳などの飛沫感染や、接触感染です。学校や職場、家庭内で感染することが多いです。予防には手洗いやうがい、マスクが基本となります。

グラフは北海道のマイコプラズマ肺炎報告数の推移です。(感染症情報センター) 秋から冬に流行するので今後も注意が必要です。



## LOOK 超音波で骨密度



11月3日(火)文化の日にシルバープラザで行われた「第11回全町一日健康の集い」に今年も臨床検査室

は八雲総合病院コメディカルの一員として参加して骨年齢(骨密度)の測定を行いました。今回会場で使用した測定器はQUS法という超音波を用いる方法で実際に当院内でおこなっているDXA法(微量のX線を用いて骨密度を測る方法)とは違いますが、超音波を踵(かかと)の骨にあてて超音波が骨の中を通過する量や速さで骨密度を計測する方法です。機械もコンパクトでこのような会場に持ち込んで検査を行うことができます。



またX線を用いていないので妊婦さんでも安心して測定を行うことが出来る検査法です。結果は%YAM(% Young Adult Mean)と骨年齢で表示され、%YAMが70未満で骨粗鬆症(こつしょうしょう)が疑われます。%YAMのYAMとは20〜44歳の平均値でこの値と比べ自分はどのくらい(%)なのかを、骨年齢は測定した骨密度が何歳の人の平均と同じくらいなのかを表しています。



## チェック!



### 変異型ノロウイルスが流行するおそれ

ノロウイルスは、ヒトに感染する遺伝子型が31種類あり、いままではGⅡ・4というタイプが国内や海外でも主流を占めていました。しかし、国などの研究グループが調べたところ、今年からGⅡ・17のタイプが増え

始め、2月以降はすべてこのタイプだったという事です。さらに、このタイプのウイルスを詳細に調べると、ヒトへの感染に関与する部分に変異している、ヒトが免疫をもっていないウイルスに変異していることが分かりました。ウイルスが変異して新しいタイプが出現すると、ヒトがいままで持っていた免疫が効かないため、今後、感染する人が増えて流行する恐れがあります。ノロウイルスは、感染力が非常に強いのが特徴で、百個程度あるとヒトに感染するとされ、腸の中で増えて嘔吐や下痢などの症状を引き起こします。患者の吐物や便などのウイルスで汚染された物に触った手などを介して口から入って感染するため、病院や高齢者施設、あるいは、保育園や幼稚園等では集団感染に注意が必要となります。ノロウイルスに対し



## ほと time

### 恒例の....

院内保育所の運動会が行われ、たくさんの子供達が活躍しました。父母の種目『4色水リレー』で、子供達の声援と大人たちのどよめきで大いに盛り上がりました。来年も楽しみです。



## ノロウイルス抗原迅速検査

## 検査の基本

材料：自然排泄便、浣腸便  
採取用具：採便管(ケリベントール) おむつ等  
検査時間：約30分  
便中のウイルス抗原を測定する検査法のため、ウイルス量の少ない吐物やスワブ材料では偽陰性となることがあるので検査は行っておきましょう。この迅速検査の他にウイルス遺伝子を測定するPCR法(外注)があります。迅速検査では検出できない少量のウイルスでも検出が可能です。



ではアルコール消毒の効果が不十分なので、患者の吐物や便などを処理するときは、マスクや手袋を着用して次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤などを使用して消毒します。また、調理や食事の前には、流水とせっけんによる手洗いを徹底し、感染を予防することが重要です。



## 編集後記

これからの季節、色々な感染症が流行ります。手洗いがいで予防し、生活習慣に気を付けて、ウイルスや細菌に負けない体力をつけましょう。次回の検査室新聞の発行は新年になります。今年はどうな年でしたか？